

質疑要旨	答弁者	答弁要旨
<p>2. ネーミングライツについて</p> <p>昨日、市長にネーミングライツに対する考え方を伺い、市長からは一定の評価ができる答弁をいただいた。これほどすばらしい財源対策はないと思っているので、このネーミングライツへの取り組みを一層強化していただきたい。</p> <p>なぜなら、これからの日本の社会が地方分権型社会に進んでいくことに大きな関わりかおる。地方自治体の運営への国からの関与が小さくなり、各都市固有の行政運営が拡大していき、これからは地方の責任というのが求められていく中で、ネーミングライツは実に有効かつ実益のある取り組みと考える。しかし、本市における導入実績は、ホームズスクジウムやスカイマークスタジアム、神戸市バスのバス停など、各局が個別にばらばらに取り組んでいるように思える。</p> <p>他都市では、文化施設や公道、公衆トイレなどの様々な公の施設に既に取り入れられている。円滑な導入を進めるために行政と企業をつなぐ部署を設けるなど、住民・企業・行政が一体となった市政運営への取り組みが姑よっている。</p>	<p>局長</p>	<p>新たな財源の確保については、ご指摘のネーミングライツをはじめ様々な取り組みを進めている。</p> <p>ただ、進め方が少しゆるいのではないかとということだが、昨日も市長から答弁していただいたとおり神戸市では、グリーンスタジアム、ウイングスクジウム、バス停でネーミングライツを導入している。3件しかないという考え方もあるが、一自治体で3事業のネーミングライツを行っているのは、全国的にも進んだ取り組みであると考えている。地下鉄の駅名「旧居留地・犬丸前」は、非常にわかりやすいということで駅名に採用されたようである。これら3事業のネーミングライツで得た収入は平成20年度までで約4億3千万円となっている。</p> <p>ネーミングライツ以外の取り組みとしては、ホームページにおけるバナー広告、広告付きバス停留所、動物サポーター制度等いろいろな形で工夫を凝らしながら取り組んでいるところである。</p> <p>今後も引き続き検討を行っていくが、その申でネーミングライツについても新たな可能性を採っていきたい。</p> <p>施設についての話もあったが、文化ホールに類似する施設としては、兵庫県立芸術文化ホールや名古屋市民会館などでネーミングライツが行われている。また、王子動物園に類似する施設としては、横浜市の野毛山動物園で公募が行われたが応募がなく断念した。神戸でも、王子スタジアムで</p>

命名権が普及する前に開通した神戸市営地下鉄海岸線の「旧居留地・犬丸前」という駅名は市民にとっても非常にわかりやすく、いい名前だと思っている。いくらもらっているのかと聞くと、公募したものの中で一番良かったものを選んで付けただけなので1円ももらっていないということだったが、少なくとも100万円ぐらいはもらえらると思っている。

神戸には文化ホール、動物園、博物館などがあり、また、局長が前任でいたみなと総局でも、神戸港の第1突堤、第2突堤などもナンバーで呼ぶのではなく、それぞれネーミングライツで募集すればたくさん応募があると思う。神戸はそういうふうに活用すればいっぱい財源を考えることができると思う。そういったネーミングライブに関する指針・方針を示していただきたいと思うが、見解を伺う。

(要望)

局長から、取り組んでいくと答弁をいただいて満足している。

神戸には、森林植物園や須磨海岸、大きな公園など可能性のあるものがいっぱいある。これからは、お金がないとは言わずに、そこからお金をとってもら

以前やったが導入には至らなかった。

施設自体や道路等の案内表示の変更にかなりの経費がかかり、このような経費も民間事業者に負担いただくことを考えると、ネーミングライツ自体に相当な魅力が必要ではないかと思っている。

新たな投資を伴わない無形財産の有効活用であることから、公共施設という性格を損なわないことを前提に経済耐勢も踏まえながら、引き続き導入の可能性を探っていきたい。また、横浜市では民間から提案を受け付けるということも行っており、このようなことについても工夫できないか横断していきたいと思っている。

これまでも本市では、各局が創意工夫しながら成果をあげてきたところであるが、今後、取り組みを進めていくにあたって、行財政局が中心となりネーミングライツをはじめとする財源確保の意識の全庁的な徹底を改めて図りたいと考えている。

今後とも、厳しい財政状況の中にあっても市民サービスを維持・向上していくためにネーミングライツも含めた新たな財源の確保に向けた取り組みを一層進めてまいりたい。

いたいと思う。		
---------	--	--

